

● 診療科の特色

1. 常勤病理診断医:2名、非常勤病理診断医1名、常勤精度管理医師:1名

常勤臨床検査技師:28名 非常勤臨床検査技師:8名 検査助手:2名で検査業務を運営している。

2. 夜間帯は当直体制として24時間体制での検査体制を構築している。新型コロナ検査に対応すべく、1名のバックアップ体制を構築している。

休日日勤帯は2名体制とし、緊急検査及び新型コロナ検査に対応している。

3. 日本臓器移植ネットワークからの移植検査センター業務を輸血管理室で実施。

(R4年度実績:脳死心停止ドナー検査13件、新規献腎移植登録者検査34件)

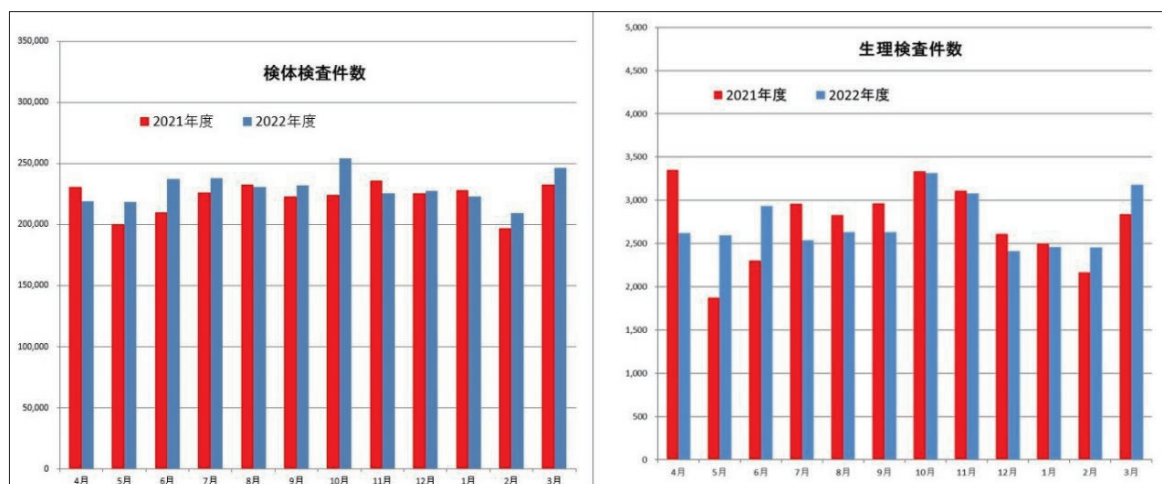
4. 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会認定の品質保証施設の認証を得た。
5. チーム医療に積極的に参加。(外来採血・NST・ICT・心臓カテーテル検査・がんゲノム検査など)

● 教育・研修活動

1. 毎月1回内科症例のCPCを実施(1~2症例)。
2. 臨床検査科内で月1回以上の勉強会の実施。
3. 例年は岡山理科大学4回生の病院実習を受け入れているが、R4年度は新型コロナの影響により受け入れ中止。
4. 初期研修医に対して臨床検査科実習を実施。
5. ISO 15189 認定審査を2023年1月25日(水)~27日(金)の日程で受審した。2022年度末現在、指摘事項に対しての是正活動中。

● 2022年度の主な臨床検査科統計の概要

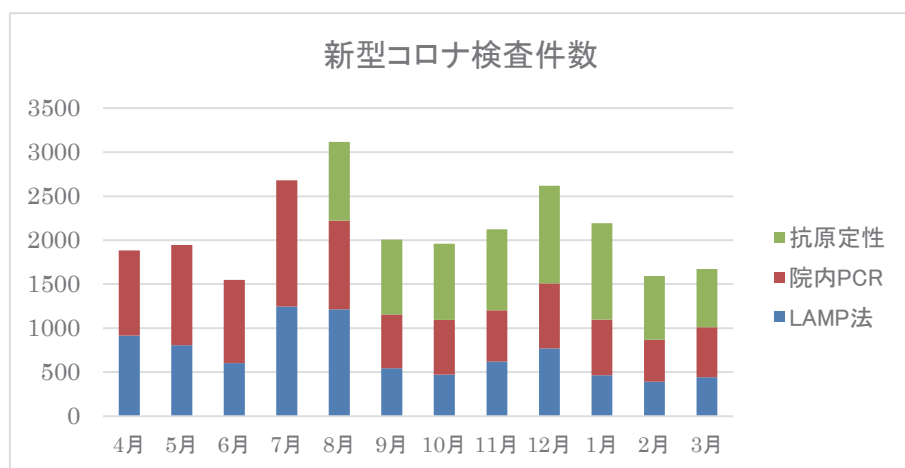
2022年度の検査件数は2021年度と比較し、検体検査で前年比104%、生理検査で100%となった。しかし新型コロナウイルス感染拡大以前の2019年度と比較した場合には、検体検査100%、生理検査87%となっており、生理機能検査における新型コロナウイルス感染の影響が大きく出ている。特に呼吸機能検査については、2019年度比79%と大きな影響を受けている。



経費については前年比 95%となっており、試薬の見直しによる効果が出ている。

	2022 年度	2021 年度
検査修繕費	¥6,613,644	¥9,075,164
検査点検	¥10,044,607	¥7,681,245
年間保守	¥8,855,221	¥12,033,208
試薬代(検査科)	¥418,609,043	¥444,907,292
診療材料費(検査科)	¥44,310,124	¥40,164,422
合計	¥488,432,639	¥513,861,331

新型コロナ関連検査として、従来からの院内 PCR、LAMP 法に加えて 2022 年 8 月より抗原定性検査を開始した。新型コロナの院内測定件数は 2021 年度 14,169 件であったが、2022 年度は 25,340 件と大幅に増加した。



● 2022 年度に臨床検査科が参加した主な外部精度管理

1. 日本臨床衛生検査技師会主催精度管理調査
 実施時期:6 月初旬 結果:8 月下旬、
 目的:他の精度管理では実施できない細菌、病理、生理検査などの精度管理
2. 日本医師会主催精度管理調査
 実施時期:9 月初旬 結果: 2 月下旬
 目的:項目は生化学、免疫、血液、一般検査の精度管理調査
3. 日本病理精度保証機構外部精度評価
 実施時期:前期 10 月上旬、後期 11 月下旬 結果:3 月
 目的:染色やバーチャルスライドの判定で精度維持・向上を行う精度管理
4. 日本組織適合性学会主催 HLA-QC ワークショップ
 実施時期:4 月中旬 結果:9 月 目的:HLA 検査の精度維持
5. 岡山県臨床検査技師会主催クロスチェックサーベイ
 実施時期:毎月初旬 結果:毎月中旬
 目的:岡山県下の施設間差を毎月モニターすることで、リアルタイムの施設間是正が行える

●研究業績

学会発表

- 1) 当院で経験した脚気心の一例
藤中 晴香
第 10 回国立病院臨床検査技師協会中国四国支部学会 2022 年 9 月 17 日
- 2) FER-ラテックス RX「生研」への試薬変更について
村田 円羅
第 10 回国立病院臨床検査技師協会中国四国支部学会 2022 年 9 月 17 日
- 3) 当院で経験した卵形マラリアの一例
尾形 美沙紀
第 10 回国立病院臨床検査技師協会中国四国支部学会 2022 年 9 月 17 日
- 4) 末梢血と骨髄で細胞形態の異なる Low grade B-cell lymphoma (SMZL 様) の一例
永田 啓代
第 23 回日本検査血液学会 2022 年 7 月 30 日
- 5) FER-ラテックス RX「生研」への試薬変更時の注意点
永田 啓代
日本医療検査科学会 第 54 回大会 2022 年 10 月 9 日
- 6) CHDF 施行時に APTT でヘパリンモニタリングができない事例について
永田 啓代
第 55 回中四国支部医学検査学会 2022 年 10 月 22 日
- 7) 耳下腺に発生したオンコサイトーマの 1 例
大石 恭平
第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会 2022 年 11 月 6 日
- 8) 特定移植検査センターとして対応した FCXM 陽性献腎移植の 1 症例
中川 智博
第 76 回国立病院総合医学会 2022 年 10 月 7 日

座長

- 1) 日本医療検査科学会 第 54 回大会 2022 年 10 月 9 日
一般演題 No.118~No.123(ビリルビン)
乗船 政幸
- 2) 第 10 回国立病院臨床検査技師協会中国四国支部学会 2022 年 9 月 17 日
一般演題生理部門 3 演題
吉本 幸